

# 宮代地区まち協通信

第102号

発行日

令和 4年6月1日

2022年



南宮大社の“真”

## 野反湖シラネアオイ群生地

撮影：福本莞さん



上信越高原国立公園  
群馬県吾妻郡六合(くに)村  
にある野反(のそり)峠休憩所から10分  
程のところにあるダテカンバの林の中に  
シラネアオイが群生しています。標高  
1,500mの野反湖畔にはかつての湿原  
が広がり、周囲にシラネアオイの群生  
が観られます。毎年五月下旬には薄  
紫色の可憐なシラネアオイの見事な光  
景が楽しめます。

## 令和4年度を向かえて

宮代地区まちづくり協議会会長 西川 一明

### 目次

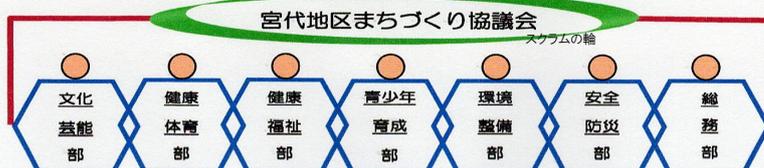
- 令和4年度を向かえて  
西川会長挨拶
- 6月行事予定
- 「南宮大社の例大祭」
- 令和4年度に向かって  
今月は2名の  
理事・役員挨拶
- 活動報告  
＜4月・5月の活動＞
- 文芸の広場  
中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿の  
お宝》について

### 令和4年度 に願うこと



令和4年度も  
2ヶ月が経過し  
新しい役員も決  
まり、本格的な  
活動が始まりま  
した。過日行われた、垂井祭りも3  
日間好天に恵まれ、予定どおり実  
施されました。宮代におきまし  
ても5月4日の御田植、5月5日の  
南宮大社の例大祭も行われ、蛇山  
神事も桜林において、天満が踊り  
番を努め執り行われ、沢山の方が  
見物に来られました。

宮代地区まちづくり協議会も各専  
門部の部長さんを中心に 企画・  
運営をして頂きます。コロナ問題  
で2年間は三人行事であります  
「夏祭り」「運動会」「文化祭」が  
例年どおり実施することが出来ま  
せんでした。本年は今まで行って  
きた方法を少し見直し、宮代の住  
民の方々に楽しんで頂けるよう考  
えていきたいと思ひます。それ  
には皆様方のご協力が欠かせませ  
ん。今後ともよろしくお願ひ致し  
ます。



	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	3日・17日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	絵手紙教室	12日・26日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
3	千之子ども「和楽器」教室	4日 9:25~11:20	土	宮代小学校	5年生 9:25~10:10 6年生 10:35~11:20
4	体育推進委員会総会	5日 9:00~11:00	日	まちセン 大会議室	
5	ささえあい連絡会・ふれあいサロン	11日 9:30~11:45	土	まちセン 大会議室	
6	お花教室	18日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	小学生①部 9:30~ ②部 10:30~
7	陶芸教室	18日・19日 9:30~17:00	土・日	実習室	会員募集中
8	宮代長寿会定例会	19日 10:00~11:00	日	まちセン 大会議室	

## 「南宮大社の例大祭」

コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止されていましたが「南宮大社の例大祭」が三年ぶりに一部縮小され開催されました。5月4日には、農作物の豊穰を願う「御田植」神事が行われました。早乙女達が手甲・脚絆・たすき・前掛け姿で髪には金銀の折り紙の蝶をつけ、苗に見立てた松の葉を植え付け、田植の一連の流れを模して行われます。5日には、神幸式と蛇山神事が執り行われます。神幸式は南宮大社が北へ2km程の府中の御旅神社にあったという伝承から、御祭神が神輿に乗ってお帰りになる行事です。御旅神社から本社へ帰る途中、市場野にて神輿は「神輿上がり」に安置され、「だんじり（楽事）」の上で還幸舞が催されます。この舞は国指定無形民俗文化財に指定されています。蛇山神事は五穀豊穰を願う農耕信仰の神事で、南宮山の奥にある蛇池より降臨した蛇頭を市場野にて囃子に合わせ勢いよく振り動かし口を開閉し、子供達がだんじりの上で行う竜子舞と共に激しく乱舞し祭りはフィナーレを迎えます。



神幸式



御田植



還幸舞

6月・7月の休館日 6月7日(火)・14日(火)・  
21(火)・28日(火)  
7月5日(火)・12日(火)・  
19日(火)・26日(火)

青少年育成部  
部長 村田康明



この度、昨年に引き続き、まちづくり協議会の青少年育成部の部長となりました。

コロナ過の中、あらゆる活動に制限がかけられている状況ですが、宮代地域の青少年の健全育成を図るため、少しでも宮代地区の“まちづくり”に寄与していきたいと考えて活動をしていきます。地域の“まちづくり”を推進することが“青少年育成”に繋がっていくと思いますので、皆様方のご協力をお願いします。

文化芸能部  
部長 藤塚 助男



今年も昨年と同じコロナ感染が続く中、文化芸能部がスタートしました。永年の経験を通して地域の皆様、自治会長さん及び推進して下さる関係者のご意見をお聞きしながら、新しい行事計画を考え全力で反映させていくことが活動に大きく貢献することになっていっています。文化芸能部では年間多数のテーマ・講座・教室を計画し参加者を歓迎したいと思います。尚、宮代夏祭りについては新しい試みとして計画、そして縮小を考え関係者の安全で、負担を掛けないよう検討して行つもりです。地域の皆様ご意見を参考にしたいと思いますので、宮代地区まちづくりセンターまでお寄り下さい。文化祭につきましてもアドバイス、ご指導をお待ちしております。

# 活動報告



4/21~5/19



5月6日体育推進委員役員会が総会準備のため開催されました。



5月9日ささえあい連絡会の会議が開催されました。



5月9日シニアはつらつ教室が開催され、皆さん一生懸命身体を動かしてみえました。



5月12日民生委員会議が午後7時より大会議室にて開催されました。



5月14日宮代小学校3年生を対象に千之子どもお花教室が開催されました。



5月16日千之子ども教室・農場体験のためトモロコシ畑準備を有志の方々で行われました。



＊墓石の 阿の字に住める 雨蛙  
川瀬 慶泉

＊十薬の さげすむたびに 増えてをり  
大羽 志津子

＊手おとおす 薄衣はおり 寺の朝  
傍島 法苑

＊あさがおや むらさき色と 雨の色  
中嶋 結映



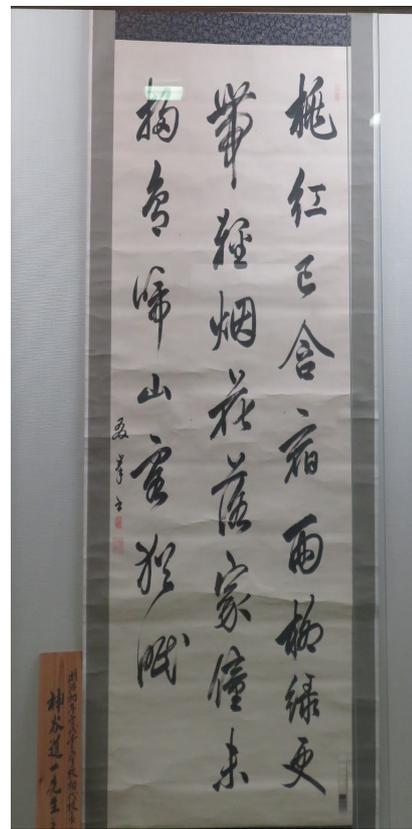
南宮大社宝物殿のお宝について 其のⅪ

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その十五 神谷道一先生揮毫の掛け軸

「田園楽 王維」



桃は紅 うれな  
にして復また  
宿雨を含み  
柳は緑にして更に  
朝煙 ていんを  
帯おぶ  
花落ちて家童か  
どく未 いまだ  
掃ほらはず  
鶯啼きて山客さ  
んかく猶 なほ  
眠る

宮代小学校が、明治六年（一八七三年）小学校令が発令されて、南宮 神社の作事小屋を借りて千之義校として創設された。本校の初代主席教員（現代の校長）は南宮神社の神宮神谷道一先生である。先生はなかなかの学者でもあり、達筆で詩を愛し、教育内容においても、自ら手本を作られ、生徒を厳しく指導されたようである。後に教えを受けた卒業生に賜ったのが「六言絶句」の詩であり、卒業生から南宮神社に寄贈された。現在宝物殿に展示されているのがこの掛け軸である。この詩は中国唐の漢詩人、王維の六言絶句「田園楽」である。神谷先生はこの他にも「関ヶ原合戦団志」を作成され、刻々と変わる陣型図を発表されている。なお、令和五年（二〇二三年）が宮代小学校開設一五〇年にあたります。

注）千之とは「これを千たびする」と読む。その意味は、人が十回行えば、自分は千回行うという中国の教えで、儒教の中心となる「四書」の中の中庸」という書物の第二十章にでてくる言葉である。

編集・発行

〒503-2124  
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター  
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明  
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



まちづくりセンターから西の方角の風景

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい